

待つこと

外国から来られた方は毎回決められた時間ぴったりにホームにやってきて予定通り発車していく日本の電車に一樣に目を丸くするようです。利用者にとっては、まちぼうけてイライラなんてことがなくとても便利。素晴らしいことであるのは間違いありません。日本はすみずみまで「早く正確に！」の哲学が行きわたっています。でも、どんな場合でもそれが当然と思いこんでいると少し勘違い？ とくに人間に向き合うときには…。

先日、地下鉄に向かうためアルプラザのエレベーターに乗ろうとしました。特売日だったようでどこもコミコミ。エレベーターがなかなか来ません。ようやく来たと思ったら中はギュウギュウ。なんとかスペースをいただいて乗り込むけれど“各駅停車”。30度近い暑さも加わり、みんなイライラ。地下2階の扉があくとわれ先に出て行こうとする。でも、たくさんの買い物かごやキャリーバッグに阻まれてうまく進めない。そのうち誰かのキャリーの角に足があたったようで「謝れ」「謝らない」「先にいかないほうが悪い」とご婦人同士の言い合いに発展。どちらも人生経験豊かな年齢とお見受けされ、周りの人たちもなかなか仲裁に入れず…。機械や技術は「早く正確に！」でいいけれど、実は人間はそれでは生きていけません。人間にとって大切なのは、むしろ「待つこと」ではないでしょうか。

先日ある運動会で二人一組で大玉ころがし競走がありました。ただしペアは中高生と小学校低学年。これがなかなか難しい。走るのが得意な大きい生徒ほど小さな子とどのように走っていいかわからない。途中で何度もころびかけたり、じれったくなって小さな手を引っ張るように無理に走ろうとしたり。その中でとてもゆっくりな一組がいました。高校生と小学1年生のペア。お兄さんの方が小さな子の後についてゆっくり、ゆっくり走って（歩いて？）いきます。決して前に出ず、根気強く。ずっとそのペースで、しかし、途中でころぶことなく進み、ついにゴール。終わったとき見合わせた二人の顔と顔はきらきら輝いていました。

「早く正確」より、しっかり「待つこと」を身につけられるように。それが人間を育てるということなのかもしれません。そのために私たち大人はどうしたら？ そう、やはり「待つこと」です。ゆっくり、ゆっくり。そこにはきっと、素晴らしいゴールが待ってますよ。

(園長 つだ かずお)

<だいでご教会より>

こんど6月5日(日)あさ10時30分より親子で参加の花の日礼拝があります。楽しいですよ！
よかったら来てね♡

耳鼻科検診、歯科検診、小児科健診が終わりました。耳鼻科では、慢性鼻炎の子どもたちもいました。鼻炎が続くと鼻水や炎症がのどにおりて熱や咳がでたりします。ほおっておくと蓄膿症になったりもしますので、はやめの受診をお勧めします。耳垢も耳鼻科を受診してとってもらってください。また、鼻水が出始めると小児科に受診され、お薬をもらわれることが多いようですが、元になる部分が治らず、悪化してから耳鼻科に来られることがあるので、まずは耳鼻科に受診して下さいとのことでした。耳鼻科では他の症状がある場合は聴診器をあてて必要に応じて小児科をすすめられます。

☆ プールあそび、水あそびが始まるまでに、要治療の方は早めの治療をよろしくお願いします。